

地域森林計画 樹立・変更の概要

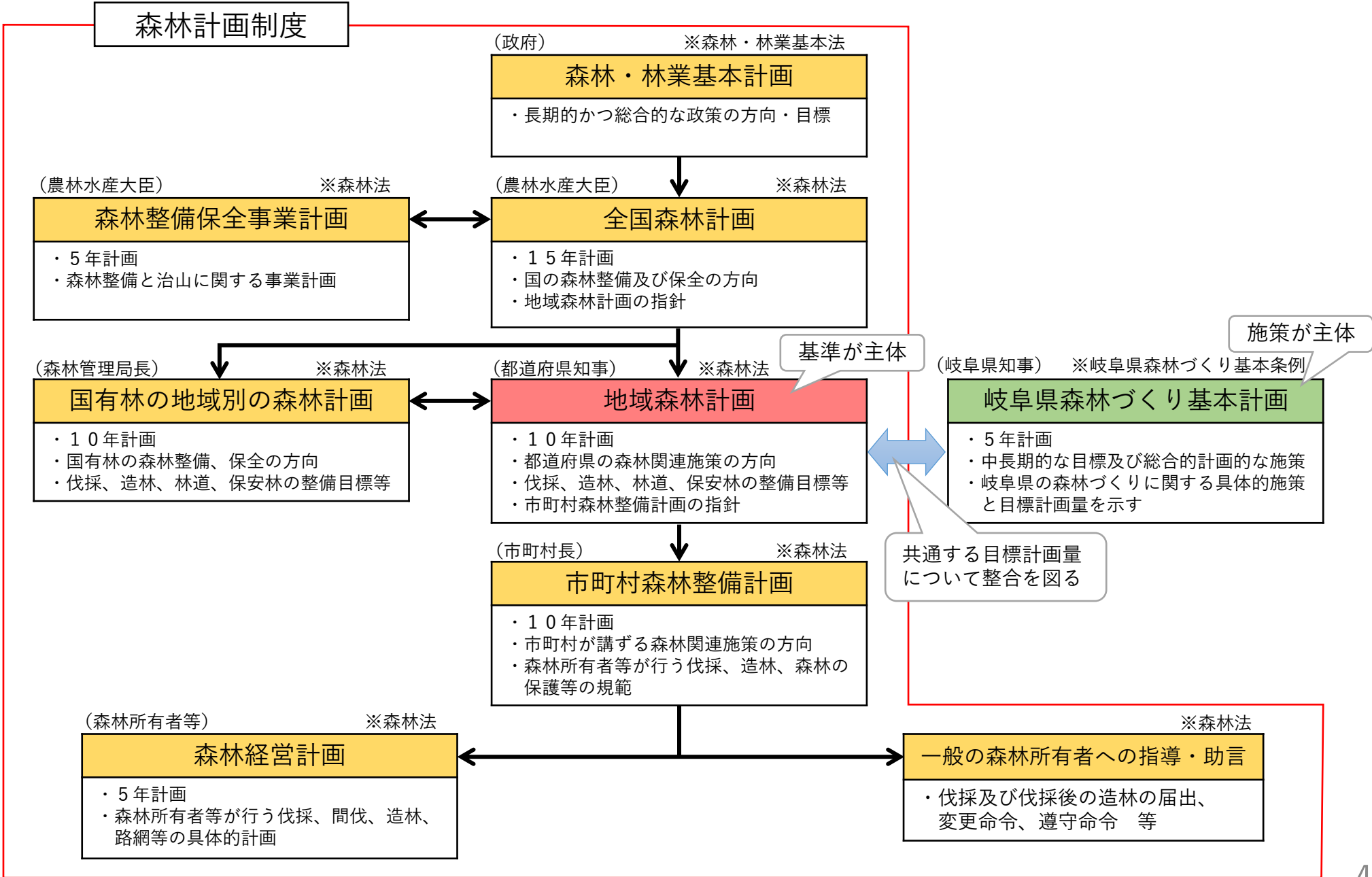
令和7年12月
岐阜県林政部

説明内容

1. 森林計画制度の概要について
2. 長良川地域森林計画の樹立について
3. 地域森林計画の変更について
(木曽川、揖斐川、宮・庄川、飛驒川計画区)

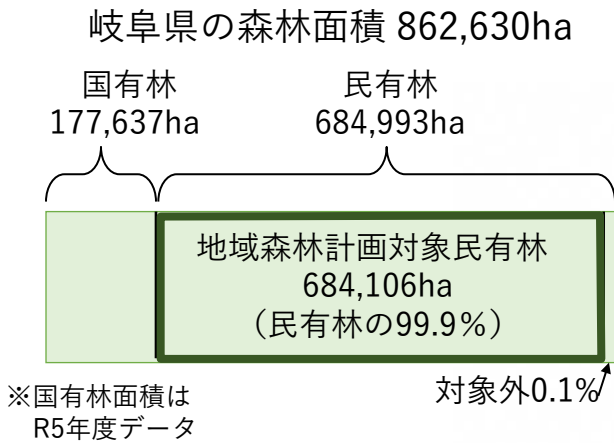
1. 森林計画制度の概要について

1. 森林計画制度の概要について



1. 森林計画制度の概要について

岐阜県の森林計画区



【森林計画区】

- 森林法に基づき農林水産大臣が都道府県知事の意見を聴き、地勢その他の条件を勘案し、主として流域別に都道府県の区域を分けて定める。

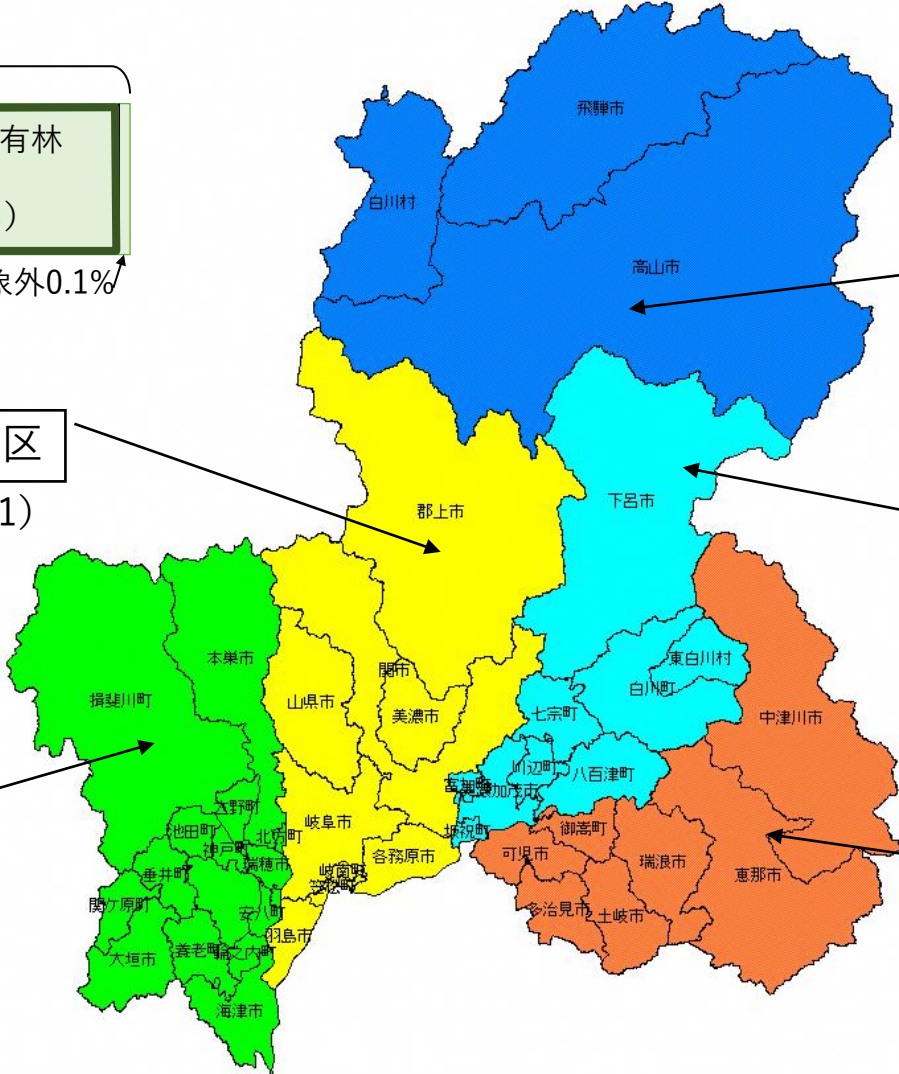
今回樹立
長良川森林計画区
(R8.4.1～R18.3.31)

宮・庄川森林計画区
(R7.4.1～R17.3.31)

飛驒川森林計画区
計画期間：(R4.4.1～R14.3.31)

揖斐川森林計画区
(R6.4.1～R16.3.31)

木曽川森林計画区
(R5.4.1～R15.3.31)



※数字の単位未満は、原則として四捨五入してあるため、総数と内訳数字の合計や歩合が一致しない場合があります。

1. 森林計画制度の概要について

地域森林計画の計画期間

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
全国森林計画			策定												R20 まで
木曽川森林計画		樹立	変更	変更	変更		樹立					樹立			
揖斐川森林計画			樹立	変更	変更		樹立					樹立			
宮・庄川森林計画				樹立	変更			樹立					樹立		
長良川森林計画					樹立				樹立					樹立	
飛驒川森林計画	樹立	変更	変更	変更	変更	樹立					樹立				
岐阜県森林づくり 基本計画	第3期			第4期											

- 【全国森林計画】 15年を1期とし、5年ごとに策定
令和5年度策定（R5.10.13閣議決定）
- 【地域森林計画】 10年を1期とし、5年ごとに樹立
[樹立]：長良川森林計画区
[変更]：木曽川、揖斐川、宮・庄川、飛驒川森林計画区

2. 長良川地域森林計画の樹立について

計画期間 : 令和8年4月1日 ~ 令和18年3月31日
(うち前期 : 令和8年4月1日 ~ 令和13年3月31日)

地域森林計画書の構成

はじめに

第1章 岐阜県の森林づくりの目指す姿

- 1 岐阜県における森林づくりの基本理念
- 2 「清流の国ぎふ」の未来を支える森林づくり
 - (1) 目指すべき方向性と基本方針
 - (2) 森林づくりの推進に向けた施策
 - (3) 災害に強い循環型の森林づくりのための主な取り組み

第2章 計画区の概要

- 1 自然
- 2 社会経済
- 3 森林・林業の状況
- 4 計画の対象とする森林の区域

第3章 前計画の評価と個別計画

- 1 前計画の実行結果の概要及びその評価
 - (1) 伐採計画
 - (2) 間伐面積
 - (3) 造林計画
 - (4) 林道整備計画
 - (5) 保安施設
 - (6) 要整備森林
- 2 個別計画
 - (1) 伐採計画
 - (2) 間伐面積
 - (3) 造林計画
 - (4) 林道整備計画
 - (5) 保安施設
 - (6) 要整備森林

第4章 森林整備及び保全方針

- 1 森林の整備及び保全の基本方針
- 2 公益的機能別施業森林の整備に関する事項
- 3 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域の基準及び当該区域内における施業の方法に関する指針
- 4 森林配置計画の将来目標区分の設定に関する基準、区分ごとの整備方針
- 5 計画期間内において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等

第5章 森林整備基準等

- 1 伐採に関する事項
- 2 造林に関する事項
- 3 間伐及び保育に関する事項
- 4 将来目標区分ごとの施業基準等
- 5 林道等整備に関する事項
- 6 森林施業の合理化に関する事項
- 7 森林の土地の保全に関する事項
- 8 保安施設に関する事項
- 9 鳥獣害の防止に関する事項
- 10 森林病虫害の駆除及び予防その他の森林の保護に関する事項
- 11 保健機能森林の整備に関する事項
- 12 制限林等の施業に関する事項

※赤字は今回の樹立・変更により変更がある部分

岐阜県における森林づくりの基本理念

基本理念「揺るぎない長期的展望と県民協働による持続可能な森林づくり」
(3つの方針)

- 県民の生命・財産と良好な環境を守る、健全で豊かな森林づくり
- 森林資源の循環利用を通じて活力ある地域社会を実現する、林業・木材産業の振興
- 社会全体で森林づくりを支える、人づくり・仕組みづくり



「清流の国ぎふ」の未来を支える森林づくり

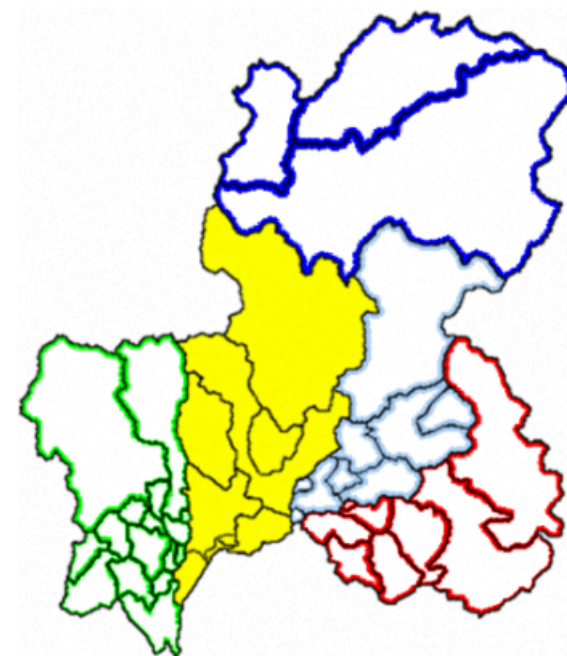
- 激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化
 - 山地防災力の強化、「森林配置計画」による森林の区分（木材生産林、環境保全林等）に基づいた森林の適正な管理、保安林・林地開発許可制度等に基づく森林の適正な保全を進める
- 100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり
 - ・森林配置区分ごとの施業指針の策定と普及・啓発を進めるとともに、森林所有者が樹種や施業体系を選択し、多様な森林づくりに取り組むための仕組みづくりを進める
 - ・持続可能な森林づくりや二酸化炭素吸収源として重要な課題である、再造林・保育対策を進める
- 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援
 - 関係者への情報提供や支援を行うとともに、地域の森林管理を担う林業事業体の経営力の強化と施業実施能力の向上に対する支援や森林づくりの多様な担い手の育成と支援を行う

長良川

- ## 計画の対象とする森林の区域

單位：ha

農林・市町村名		対象民有林 (前回計画)	対象民有林	増減
計画区総数		162,765.40	162,895.13	129.73
岐阜	岐阜市	5,787.79	5,785.09	△2.70
	各務原市	1,682.57	1,678.94	△3.63
	山県市	17,965.22	18,103.20	137.98
中濃	関市	37,825.78	37,825.13	△0.65
	美濃市	9,015.13	9,014.75	△0.38
郡上	郡上市	90,488.91	90,488.02	△0.89



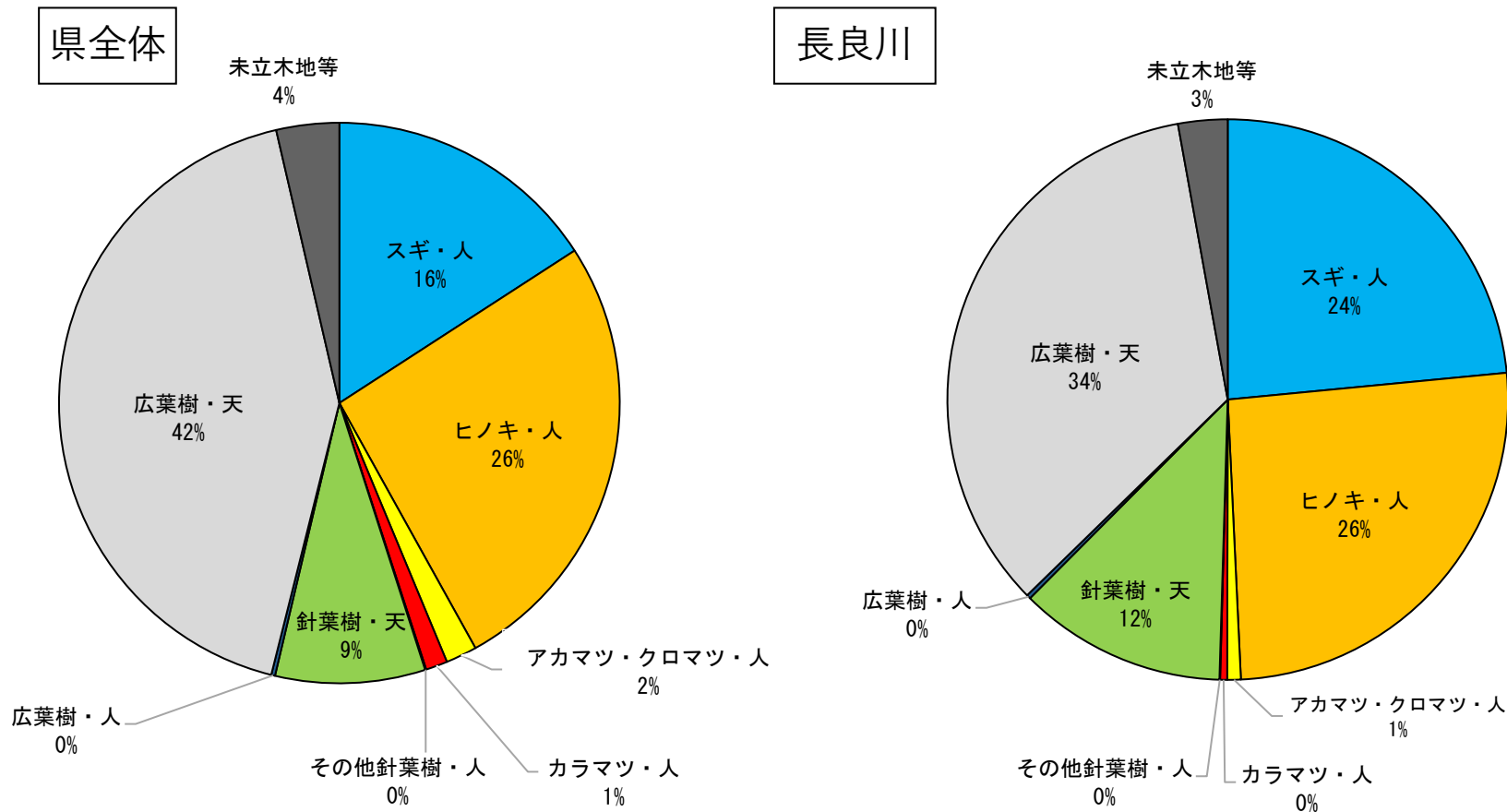
(増加＝対象民有林への転入)

- ・官行造林解除（147.8ha）等

(減少＝対象民有林からの転出)

- ・道路（9.7ha）、工場用地（3.9ha）、太陽光発電用地（0.8ha）等

樹種別資源構成割合（面積比）

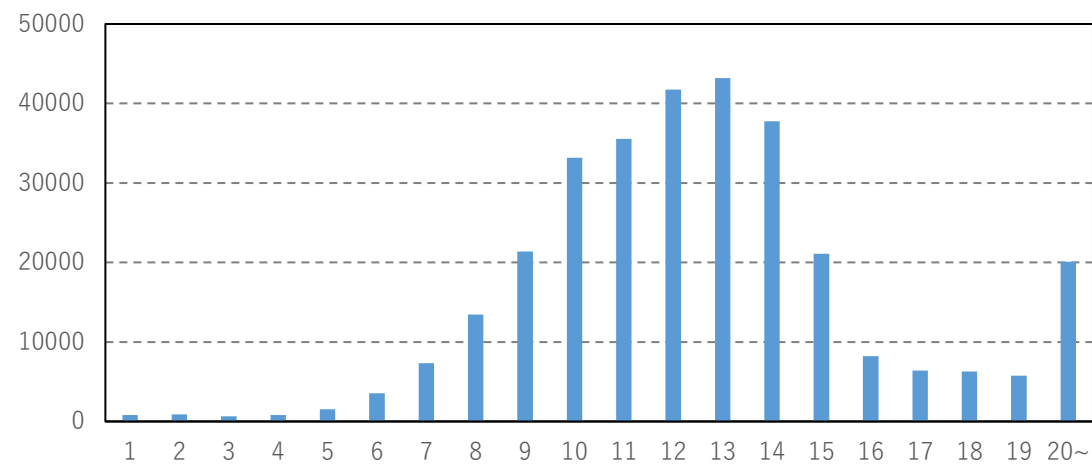


【特徴】

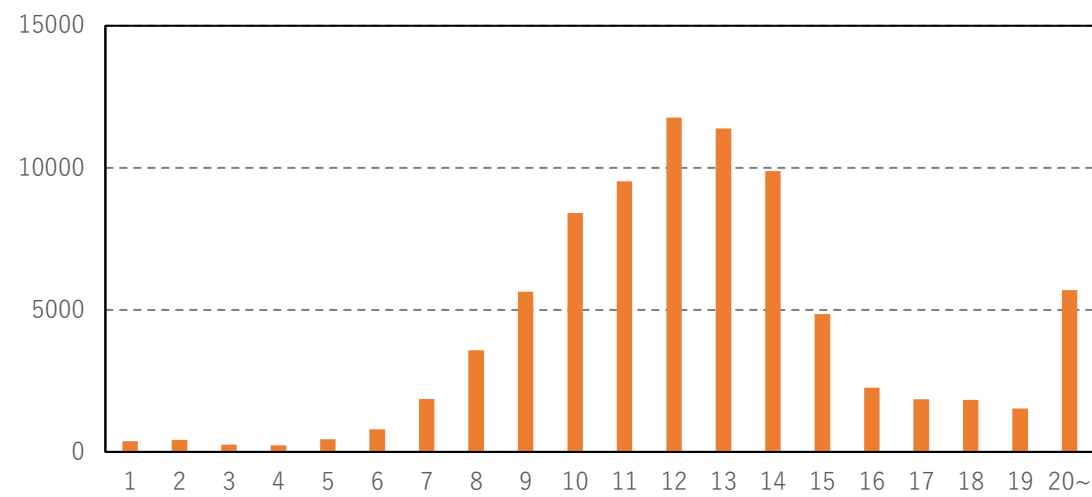
- ・ 全県に比べスギ人工林の割合が高く、広葉樹天然林の割合が低い

人工林齢級別面積（ha）

県全体



長良川



【特徴】

- ・ 全県と比べ長良川計画区のピークは1齢級若い12齢級

1 前計画（R3～R7）の実行結果の概要及びその評価

※計画量及び実行量は、前計画の前期分（R3～R7）の数量。ただし令和7年度分の実行量は見込み量（以下同じ）。

長良川

(1) 伐採計画（材積） 単位：千m3

区 分	総 数：R3~R7				参考:前回実績(H28~R2)			
	計 画	実 行		実行歩合	計 画	実 行		実行歩合
			割合				割合	
計画区総数	1,851	1,395	100%	75.3%	1,710	1,546	100%	90.4%
主 伐	706	365	26%	51.7%	517	270	17%	52.1%
針 葉 樹	646	328	24%	50.8%	440	246	16%	55.8%
広 葉 樹	60	36	3%	60.8%	77	24	2%	31.1%
間 伐	1,145	1,030	74%	89.9%	1,193	1,276	83%	107.0%

- ・伐採材積の実行量は計画量以内となり森林資源の保続が図られています。
- ・主伐の実行量は前計画期間と比較して94千m3増加しましたが、実行歩合は5割程度となりました。一方、間伐の実行量は前計画期間と比較して246千m3減少し、実行歩合は9割程度となりました。森林技術者数が増加しないなか、主伐の占める割合が増加しています。

(2) 間伐面積 単位：ha

区 分	総 数：R3~R7			参考:前回実績(H28~R2)		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
間 伐	12,777	8,242	64.5%	13,215	11,466	86.8%

- ・間伐の実行歩合は、森林技術者数が増加しないなか、主伐及び人工造林の実行量が増加していること等の理由から、6割程度にとどまりました。
- ・今後は、計画的に森林技術者を確保、育成していく必要があります。

長良川

(3) 造林計画

単位：ha

区 分	総 数：R3~R7			参考:前回実績(H28~R2)		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
計画区総数	2,057	1,381	67.1%	1,806	965	53.4%
人工造林	1,214	443	36.5%	1,033	335	32.4%
人工造林	881	439	49.9%	834	335	40.1%
樹下植栽	333	4	1.1%	199	0	0.0%
天然更新	843	938	111.3%	773	630	81.5%

- ・ 林業の採算性確保の見込みが厳しいことから、伐採跡地の多くが天然更新にゆだねられているものと考えられ、人工造林の実行歩合が低くなりました。
- ・ 持続可能な森林づくりにあたっては、人工林伐採跡地について確実に再造林を行っていく必要があります。

(4) 林道整備計画

単位：開設・舗装：m、改良：箇所

区 分	総 数：R3~R7			参考:前回実績(H28~R2)		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
開 設	43,700	6,886	15.8%	37,700	7,197	19.1%
改 良	272	118	43.4%	215	94	43.7%
舗 装	58,256	5,927	10.2%	51,556	19,600	38.0%

- ・ 計画に対し、開設、改良、舗装ともに低位にとどまりました。これは、林道関係予算の確保が厳しい状況によるものです。
- ・ 今後も、利用頻度の高い路線を優先し、事業を実施する必要があります。

(5) 保安施設

長良川

ア 保安林の指定・解除

単位：ha

区 分	総 数：R3~R7						参考:前回実績(H28~R2)					
	指 定			解 除			指 定			解 除		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
総 数	398	246	61.7%	2.9	0.14	4.7%	733	280	38.2%	1.8	0.42	23.3%
水源涵(かん)養のための保安林	22	29	130.9%	0.0	0.00	-	140	155	110.7%	0.0	0.00	-
災害防備のための保安林	376	217	57.6%	2.6	0.08	3.0%	458	117	25.5%	1.6	0.42	26.3%
保健・風致等の保存	0	0	-	0.3	0.06	20.0%	135	8	5.9%	0.2	0.00	0.0%

- ・ 水源涵（かん）養のための保安林指定は、水源林造成事業の推進等により、計画量を上回りました。
- ・ 一方、災害防備のための保安林指定は災害発生数の減により、実行歩合が低くなりました。
- ・ 今後も、保安林の指定の必要性や優遇措置について丁寧に説明し、水源の涵（かん）養や災害の防備等のために計画的に保安林指定を行っていく必要があります。

イ 治山計画

単位：林班

区 分	総 数：R3~R7			参考:前回実績(H28~R2)		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
治山事業施工地区数	310	127	41.0%	234	192	82.1%

- ・ 全体の実行歩合は4割程度となりました。今後も緊急性の高い箇所を優先し、事業を実施する必要があります。

2 個別計画

県全体

伐採立木材積の計画量の算定について（1）

- ・ 100年先の森林を具体化するための目標数値を基に県全体量を算定

< 100年先の森林を具体化するための目標数値 >

①人工造林 単位：ha

年度	R8	R9	R10	R11	R12
人工造林面積	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

③間伐 単位：ha

年度	R8	R9	R10	R11	R12
間伐面積	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600

⑥木材生産 単位：千m3

年度	R8	R9	R10	R11	R12
木材生産量	591	592	593	594	595

※基本計画の目標値のうち国有林分を除いた計画量

※表の数値は四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない場合があります。（以降のページも同様）

< 地域森林計画における計画量 >

②皆伐 単位：ha・千m3

年度	R8	R9	R10	R11	R12
皆伐面積	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
伐採材積	573	573	573	573	573
木材生産量	401	401	401	401	401

④間伐（搬出+伐り捨て） 単位：千m3

年度	R8	R9	R10	R11	R12
伐採材積	732	728	728	727	726
木材生産量	127	126	126	125	124

⑤広葉樹及び支障木伐採 単位：千m3

年度	R8	R9	R10	R11	R12
伐採材積	90	93	95	98	101
木材生産量	63	65	67	69	71

⑦県全体 単位：千m3

年度	R8	R9	R10	R11	R12
伐採材積	1,394	1,393	1,395	1,398	1,400
木材生産量	591	592	593	594	595

2 個別計画

県全体

伐採立木材積の計画量の算定について（2）

- 県全体の伐採材積量を各計画区の伐採実績及び森林資源量を踏まえて配分

< 100年先の森林を具体化するための目標数値から算定した伐採材積 > 単位：千m3

	R8	R9	R10	R11	R12
伐採材積	1,394	1,393	1,395	1,398	1,400



< 地域森林計画における計画量 > () は実績 単位：千m3

森林計画区	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	前期計
木曽川	217 (131)	241 (87)	250 (87)	258	266	265	266	266	267	1,279
揖斐川	178 (120)	191 (110)	196 (155)	201	206	206	206	207	207	1,016
宮・庄川	254 (239)	259 (241)	264 (249)	269	274	274	275	276	277	1,367
長良川	372 (235)	356 (256)	370 (236)	383	396	396	396	397	397	1,982
飛驒川	240 (173)	244 (195)	247 (143)	250	253	252	252	252	252	1,233
県計	1,262 (898)	1,291 (889)	1,326 (870)	1,360	1,394	1,393	1,395	1,398	1,400	—

長良川

(1) 伐採計画 ※ () は前回最終計画量 単位：千 m3

区分		総数：R8~R17		前期：R8~R12		後期：R13~R17	
	総 数	3,974	(3,833)	1,982	(1,851)	1,992	(1,982)
	主 伐	2,005	(1,701)	995	(706)	1,010	(995)
	針葉樹	1,851	(1,572)	926	(646)	925	(926)
	広葉樹	154	(129)	69	(60)	85	(69)
	間 伐	1,969	(2,132)	987	(1,145)	982	(987)

・第4期岐阜県森林づくり基本計画の木材生産量の目標値及び全国森林計画の計画量と整合を図るとともに、森林資源の保続を考慮した伐採材積としています。

間伐面積の算定について

県全体

- ・ 全県の間伐面積を各計画区の間伐実績を踏まえて配分

< 100年先の森林を具体化するための目標数値 >

単位：ha

	R8	R9	R10	R11	R12
間伐面積	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600



< 地域森林計画における計画量 >

() は実績 単位：ha

森林計画区	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	前期計
木曽川	1,523 (973)	1,715 (941)	1,715 (735)	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	1,715	8,575
揖斐川	1,321 (833)	1,417 (959)	1,417 (898)	1,417	1,417	1,417	1,417	1,417	1,417	7,085
宮・庄川	1,924 (1,254)	1,924 (1,024)	1,924 (978)	1,924	1,924	1,924	1,924	1,924	1,924	9,622
長良川	2,780 (1,655)	2,492 (1,705)	2,492 (1,353)	2,492	2,492	2,492	2,492	2,492	2,492	12,458
飛驒川	2,052 (1,438)	2,052 (1,231)	2,052 (1,276)	2,052	2,052	2,052	2,052	2,052	2,052	10,260
県計	9,600 (6,153)	9,600 (5,861)	9,600 (5,241)	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	—

長良川

(2) 間伐面積 ※ () は前回最終計画量 単位：ha

区分	総数：R8~R17	前期：R8~R12	後期：R13~R17
間伐面積	24,917 (25,236)	12,458 (12,777)	12,459 (12,459)

・第4期岐阜県森林づくり基本計画の間伐面積の目標値及び全国森林計画の計画量と整合を図った計画面積としています。

人工造林面積の算定について

県全体

- ・ 全県の人工造林面積を各計画区ごとの伐採計画量に応じて配分

< 100年先の森林を具体化するための目標数値 >

単位：ha

	R8	R9	R10	R11	R12
人工造林面積	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000



< 地域森林計画における計画量 >

() は実績 単位：ha

森林計画区	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	前期計
木曽川	59 (4)	86 (13)	136 (22)	186	235	226	226	226	226	869
揖斐川	47 (61)	63 (36)	94 (50)	125	156	156	156	156	156	688
宮・庄川	48 (34)	57 (73)	78 (85)	98	120	129	129	129	129	607
長良川	100 (98)	133 (96)	200 (73)	267	333	333	333	333	333	1,667
飛驒川	46 (19)	62 (46)	93 (53)	124	155	155	155	155	155	479
県計	300 (216)	400 (264)	600 (283)	800	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—

長良川

(3) 造林計画 ※ () は前回最終計画量 単位：ha

区分	総数：R8~R17		前期：R8~R12		後期：R13~R17	
総 数	5,053	(4,537)	2,480	(2,057)	2,573	(2,480)
人工造林計	3,686	(3,060)	1,846	(1,214)	1,840	(1,846)
人工造林	3,334	(2,548)	1,667	(881)	1,667	(1,667)
樹下植栽	352	(512)	179	(333)	173	(179)
天然更新	1,367	(1,477)	634	(843)	733	(634)

・ 第4期岐阜県森林づくり基本計画の人工造林面積の目標値及び全国森林計画の計画量と整合を図った計画面積としています。

(4) 林道整備計画 ※ () は前回最終計画量

区分	総数：R8~R17		前期：R8~R12		後期：R13~R17	
開設	77,200m	(73,100m)	44,800m	(43,700m)	32,400m	(29,400m)
改良	292箇所	(302箇所)	255箇所	(272箇所)	37箇所	(30箇所)
舗装	85,456m	(93,456m)	53,756m	(58,256m)	31,700m	(35,200m)

・ 市町村の林道整備計画に基づいた計画量としています。

長良川

(5) 保安施設

ア 保安林として管理すべき森林の種類別面積等 ※ () は前回最終計画量 単位：ha

保安林の種類	総数：R8～R17	前期：R8～R12	後期：R13～R17	計画開始前 指定済み面積
総数（実面積）	57,566 (57,864)	57,459 (57,629)	57,566 (57,864)	57,282
水源かん養のための保安林	30,765 (30,766)	30,752 (30,753)	30,765 (30,766)	30,731
災害防備のための保安林	25,776 (26,145)	25,682 (25,923)	25,776 (26,145)	25,525
保健、風致のための保安林	3,026 (2,953)	3,026 (2,953)	3,026 (2,953)	3,026

※総数欄は、兼種保安林が控除されているため、各保安林の合計と一致しない。

・ 今後も保安林の種別面積を適正に管理していきます。

イ 実施すべき治山事業の数量 ※ () は前回最終計画量 単位：林班

総数：R8～R17	前期：R8～R12	後期：R13～R17
404 (423)	295 (310)	109 (113)

・ 市町村からの要望を踏まえ、荒廃山地の復旧や事前防災対策を推進するために治山事業を計画しています。また、近年の建設コスト上昇を踏まえ、事業の低コスト化や効率化が求められています。

主な変更点（資料編 第3章 統計資料等）

長良川

- 森林資源の保続を図るための参考資料として、「持続的伐採可能量」を掲載

7 その他 （1） 持続的伐採可能量

- 主伐（皆伐）上限量の目安（年間）

単位：千m3

主伐（皆伐） 上限量
270

- 再造林率に応じた持続的伐採可能量の目安（年間）

単位：千m3

再造林率	持続的 伐採可能量	間伐 立木材積	合計
100%	270	197	467
90%	243		440
80%	216		413
70%	189		386
60%	162		359
50%	135		332
40%	108		305
30%	81		278
20%	54		251
10%	27		224

長良川森林計画区の主伐計画量 < 主伐（皆伐） 上限量
199千m3/年 < 270千m3/年
（前期計画量：995千m3/5年）

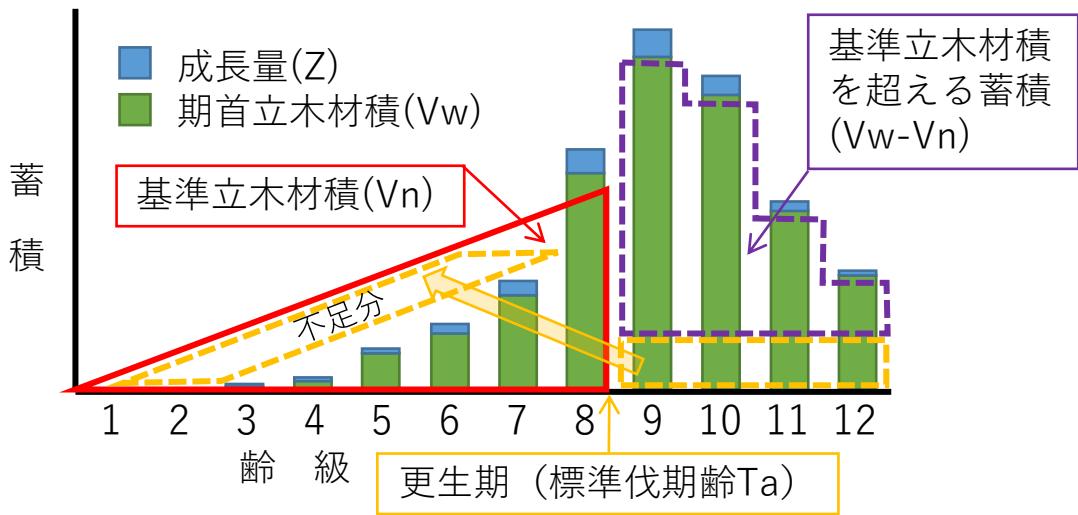
2. 長良川地域森林計画の樹立について

参考

<カメラルタキセ式>

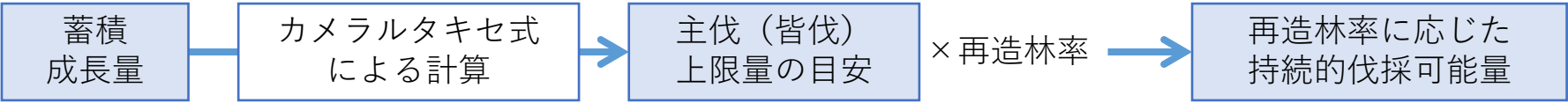
$$E w = Z + \frac{V w - V n}{T a}$$

- E w : 年間の伐採立木材積の上限
Z : 対象森林の年間成長量
V w : 期首立木材積（始期における対象森林の立木材積）
V n : 基準立木材積（保持すべき蓄積。対象森林が標準伐期齢に達した時点の立木材積の1/2）
T a : 更正期（対象森林の標準伐期齢）
※期首立木材積を基準立木材積と同じくするために要する期間



<計算方法>

- 対象とする森林：市町村森林整備計画のゾーニングにおける下記の区域を集計
- ・ 公益的機能別施業森林以外であり、木材等生産機能維持増進森林である森林
 - ・ 水源涵養機能維持増進森林のうち、他の公益的機能別施業森林と重複していない森林



3. 地域森林計画の変更について

- 木曽川森林計画区
- 揖斐川森林計画区
- 宮・庄川森林計画区
- 飛騨川森林計画区

3. 地域森林計画の変更について

【第2章 計画区の概要 「4 計画の対象とする森林の区域」の変更】

地域森林計画対象民有林面積

森林計画区	地域森林計画対象民有林
木曽川	増
揖斐川	減
宮・庄川	減
飛驒川	減

- ・ 官行造林地契約の解除に伴う増
（木曽川、宮・庄川）
- ・ 地籍調査結果の反映に伴う減
（揖斐川、飛驒川）
- ・ 道路等への転用に伴う減
（木曽川、揖斐川、飛驒川）
- ・ 太陽光発電施設等への転用に伴う減
（木曽川、宮・庄川、飛驒川）
- ・ 所有者更新に伴い国有林（林野庁所管外）となったことに伴う減
（木曽川、揖斐川、宮・庄川、飛驒川）

【第3章 前計画の評価と個別計画 「2 個別計画」 の変更】

林道整備計画

森林計画区	林道整備		
	開設	改良	舗装
木曽川	－	増	増
揖斐川	－	増	－
宮・庄川	－	増	－
飛驒川	－	増	増

- ・ 既存路線の利便性向上のため、改良の計画見直しを行ったことによる増（木曽川、揖斐川、宮・庄川、飛驒川）
- ・ 既存路線の利便性向上のため、舗装の計画見直しを行ったことによる増（木曽川、飛驒川）

保安林指定・治山事業計画

森林計画区	保安林指定				治山事業
	総数	水源涵養	災害防備	保健、風致	
木曽川	増	－	増	－	増
揖斐川	増	－	増	－	増
宮・庄川	増	増	減	－	増
飛驒川	減	増	減	－	増

- ・ 大規模な災害が無かったため、保安林指定・治山事業の計画量に大きな変化は無し

3. 地域森林計画の変更について

木曽川地域森林計画の変更

※前期：R5～R9、後期：R10～R14
※（ ）内は変更前の計画量

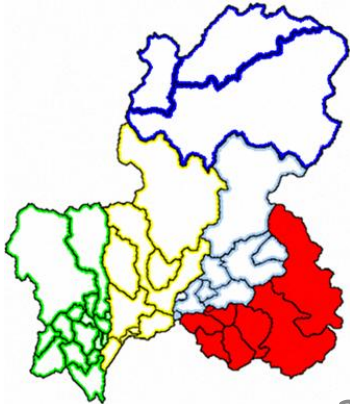
木曽川

計画対象の森林区域		単位：ha
変更前	変更後	増減
101,961.36	101,966.04	4.68

林道整備計画		単位：開設・舗装 m、改良 箇所		
区分	総数：R5～R14	前期：R5～R9	後期：R10～R14	
開設	35,400 (35,400)	18,300 (18,300)	17,100 (17,100)	
改良	324 (316)	216 (207)	108 (109)	
舗装	86,380 (84,590)	41,640 (39,850)	44,740 (44,740)	

保安林計画		単位：ha			
区分	総数：R5～R14	前期：R5～R9	後期：R10～R14		計画開始前 指定済み面積
水源涵養	10,273 (10,273)	10,273 (10,273)	10,273 (10,273)		10,273
災害防備	21,335 (21,320)	21,310 (21,303)	21,335 (21,320)		21,316
保健、風致	1,216 (1,216)	1,216 (1,216)	1,216 (1,216)		1,217

治山事業計画		単位：林班	
総数：R5～R14	前期：R5～R9	後期：R10～R14	
380 (376)	330 (326)	50 (50)	



3. 地域森林計画の変更について

揖斐川地域森林計画の変更

※前期：R6～R10、後期：R11～R15
※（ ）内は変更前の計画量

計画対象の森林区域

単位：ha

変更前	変更後	増減
120,215.93	120,213.16	△ 2.77

揖斐川

林道整備計画

単位：開設・舗装 m、改良 箇所

区分	総数：R6～R15	前期：R6～R10	後期：R11～R15
開設	59,400 (59,400)	29,100 (29,100)	30,300 (30,300)
改良	381 (378)	224 (221)	157 (157)
舗装	111,720 (111,720)	36,420 (36,420)	75,300 (75,300)

保安林計画

単位：ha

区分	総数：R6～R15	前期：R6～R10	後期：R11～R15	計画開始前 指定済み面積
水源涵養	38,823 (38,823)	38,788 (38,788)	38,823 (38,823)	38,729
災害防備	26,945 (26,864)	26,871 (26,787)	26,945 (26,864)	26,659
保健、風致	610 (610)	610 (610)	610 (610)	611

治山事業計画

単位：林班

総数：R6～R15	前期：R6～R10	後期：R11～R15
260 (249)	220 (209)	40 (40)



3. 地域森林計画の変更について

宮・庄川地域森林計画の変更

※前期：R7～R11、後期：R12～R16
※（ ）内は変更前の計画量

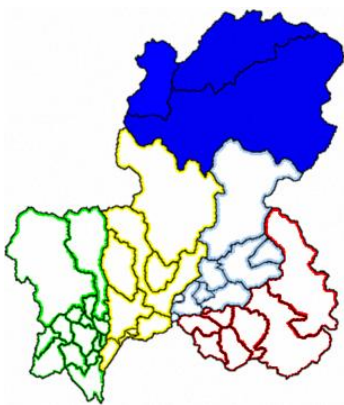
宮・庄川

計画対象の森林区域		単位：ha
変更前	変更後	増減
191,451.83	191,414.28	△ 37.55

林道整備計画		単位：開設・舗装 m、改良 箇所	
区分	総数：R7～R16	前期：R7～R11	後期：R12～R16
開設	6,700 (6,700)	5,000 (5,000)	1,700 (1,700)
改良	130 (127)	43 (40)	87 (87)
舗装	26,050 (26,050)	13,900 (13,900)	12,150 (12,150)

保安林計画				単位：ha
区分	総数：R7～R16	前期：R7～R11	後期：R12～R16	計画開始前 指定済み面積
水源涵養	53,987 (53,960)	53,894 (53,867)	53,987 (53,960)	53,714
災害防備	23,806 (23,818)	23,783 (23,790)	23,806 (23,818)	23,744
保健、風致	2,030 (2,030)	2,030 (2,030)	2,030 (2,030)	2,030

治山事業計画		単位：林班	
総数：R7～R16	前期：R7～R11	後期：R12～R16	
123 (121)	74 (72)	49 (49)	



3. 地域森林計画の変更について

飛驒川地域森林計画の変更

※前期：R4～R8、後期：R9～R13
※（ ）内は変更前の計画量

計画対象の森林区域

単位：ha

変更前	変更後	増減
107,631.44	107,617.13	△ 14.31

飛驒川

林道整備計画

単位：開設・舗装 m、改良 箇所

区分	総数：R4～R13	前期：R4～R8	後期：R9～R13
開設	171,465 (171,465)	91,565 (91,565)	79,900 (79,900)
改良	499 (498)	325 (325)	174 (173)
舗装	115,020 (112,020)	58,770 (57,770)	56,250 (54,250)

保安林計画

単位：ha

区分	総数：R4～R13	前期：R4～R8	後期：R9～R13	計画開始前 指定済み面積
水源涵養	6,919 (6,893)	6,888 (6,859)	6,919 (6,893)	6,804
災害防備	13,377 (13,415)	13,335 (13,355)	13,377 (13,415)	13,260
保健、風致	820 (820)	820 (820)	820 (820)	821

治山事業計画

単位：林班

総数：R4～R13	前期：R4～R8	後期：R9～R13
158 (145)	133 (122)	25 (23)

